

令和3年度 西東京市立柳沢小学校 学校評価計画表

学校教育目標 思いやりのある子 深く考える子 きたえる子 行動する子

目指す学校像(ビジョン)
 【目指す学校像】 児童が「分かる喜び・できる喜び」を味わえる学校 保護者が安心できる学校 地域が誇りに思う学校
 【目指す児童・生徒像】 「よく学び よく遊び よく食べる」をキーワードとし、「知・徳・体」の調和のとれた生きる力をもつ子
 【目指す教師像】 笑顔あふれる教師 児童の状況をしっかりと把握する教師 把握したことを踏まえた授業や指導を確実に行う教師 児童の満足する姿に喜びをもつ教師

前年度までの学校経営上の成果と課題
 高学年における各種学力調査は、全国や都の平均値を大幅に上回っている。しかし、「東京ベーシック・ドリル」の正答率や満点率は、学年が下がるにつれて下がり気味の傾向にある。算数科における基礎基本の技能を全児童に習得させることが急務である。また、望ましい学習規律が身に付いていない児童に正しい姿や態度を確立させることも早急に解決しなければならない。

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力目標(評価基準)	成果目標(評価基準)	
確かな学力の向上	学ぶ力の基礎・基本を身に付けさせ、学力を向上させる。	学習規律「望ましい学習の仕方の基礎的・基本的な態度」を確立させる。	授業中、授業者や発表する友達の話をしっかりと聞かせる。	4 教職員の取組評価で、肯定的な回答が90%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的な回答が80%台 2 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%台 1 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%未満	4 児童の自己評価で、肯定的な回答が90%以上 3 児童の自己評価で、肯定的な回答が80%台 2 児童の自己評価で、肯定的な回答が70%台 1 児童の自己評価で、肯定的な回答が70%未満	
		基礎・基本の定着を図る。	全児童が、算数科における該当学年の「知識・技能」を確実に習得することができる。	4 診断テストを単元末ごとに毎回実施 3 診断テストを単元末ごとに3回に2回程度実施 2 診断テストを単元末ごとに2回に1回程度実施 1 診断テストを単元末ごとに2回に1回未満実施	4 診断テストで、平均正答率92.5%以上 3 診断テストで、平均正答率87.5%以上 2 診断テストで、平均正答率80%以上 1 診断テストで、平均正答率80%未満	
	豊かな心の育成	人との関わりを大切にすることを育てる。	生活規律「望ましい生活の仕方の基礎的・基本的な態度」を確立させる。	「相手の目を見て、一礼する挨拶」という新しい生活様式を全児童に徹底させる。	4 教職員の取組評価で、肯定的な回答が90%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的な回答が80%台 2 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%台 1 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%未満	4 児童の自己評価で、肯定的な回答が95%以上 3 児童の自己評価で、肯定的な回答が90%台 2 児童の自己評価で、肯定的な回答が80%台 1 児童の自己評価で、肯定的な回答が80%未満
			いじめの未然防止・早期発見・早期対応を徹底する。	いじめに関する調査を定期的を実施したり、日々の児童の言動の変化に気付いたりするなど、実態を把握し、組織的に対応する。	4 教職員の取組評価で、肯定的な回答が90%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的な回答が80%台 2 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%台 1 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%未満	4 児童の自己評価で、肯定的な回答が90%以上 3 児童の自己評価で、肯定的な回答が80%台 2 児童の自己評価で、肯定的な回答が70%台 1 児童の自己評価で、肯定的な回答が70%未満
健やかな体の育成	健康の保持増進、基礎的な体力の向上を図る。	運動に親しみ、すすんで運動する子を育てる。	芝生の校庭での遊びや運動を励行し、日常的に体力の向上を図る。	4 教職員の取組評価で、肯定的な回答が90%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的な回答が80%台 2 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%台 1 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%未満	4 児童の自己評価で、肯定的な回答が90%以上 3 児童の自己評価で、肯定的な回答が80%台 2 児童の自己評価で、肯定的な回答が70%台 1 児童の自己評価で、肯定的な回答が70%未満	
		健康教育を充実させ、「食」に対して、自ら保持増進しようとする子を育てる。	毎月の給食日より、日々の「食」に関する話を通して、食育を充実させ、児童が「朝ご飯」を毎日食べるように促す。	4 教職員の取組評価で、肯定的な回答が90%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的な回答が80%台 2 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%台 1 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%未満	4 児童の自己評価で、達成率が100% 3 児童の自己評価で、達成率が95%以上100%未満 2 児童の自己評価で、達成率が90%以上95%未満 1 児童の自己評価で、達成率が90%未満	
	開かれた学校	保護者・地域との連携を図り、共に児童を育てていく。	保護者にとって、必要な情報を確実に発信し、不安感を与えないようにする。	保護者目線にたち、必要な情報を早急にメール配信したり、学校HPに記載したり、学年だより等で知らせたりする。	4 教職員の取組評価で、肯定的な回答が90%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的な回答が80%台 2 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%台 1 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%未満	4 保護者アンケートで、肯定的な回答が80%以上 3 保護者アンケートで、肯定的な回答が70%台 2 保護者アンケートで、肯定的な回答が60%台 1 保護者アンケートで、肯定的な回答が60%未満
			地域人材を活用した授業等を積極的に実施する。	地域人材を活用した授業等を各学年、年間指導計画に位置付け、確実に実施する。	4 教職員の取組評価で、肯定的な回答が90%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的な回答が80%台 2 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%台 1 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%未満	4 各学級における達成率が100% 3 各学級における達成率が80%以上100%未満 2 各学級における達成率が60%以上80%未満 1 各学級における達成率が60%未満
働き方改革	教職員一人一人が勤務時間を管理し、ライフ・ワークバランスを意識した働き方を推進する。	一人あたりの週の勤務時間を53時間以内におさめる。	各教職員の出勤時刻に合わせた、退勤限度時刻を設定し、遵守させる。	4 教職員の取組評価で、肯定的な回答が90%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的な回答が80%台 2 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%台 1 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%未満	4 教職員の自己評価で、達成率が100% 3 教職員の自己評価で、達成率が95%以上100%未満 2 教職員の自己評価で、達成率が90%以上95%未満 1 教職員の自己評価で、達成率が90%未満	
		業務改善について、教職員の意識改革を図る。	会議の精査や会議の適切な時間の設定、そのための提案の仕方の工夫に教職員一人一人が取り組む。	4 教職員の取組評価で、肯定的な回答が90%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的な回答が80%台 2 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%台 1 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%未満	4 教職員の自己評価で、達成率が100% 3 教職員の自己評価で、達成率が90%以上100%未満 2 教職員の自己評価で、達成率が80%以上90%未満 1 教職員の自己評価で、達成率が80%未満	

